

# 毎日健康シンポジウム

— 健康食品の安全・安心を考える —

参加無料

**日時** 平成 23 年 9 月 24 日(土) 13:00 ~ 16:00 (12:30 開場)

**会場** 名古屋市中小企業振興会館〔吹上ホール〕メインホール  
名古屋市千種区吹上 2-6-3

**定員** 400 名

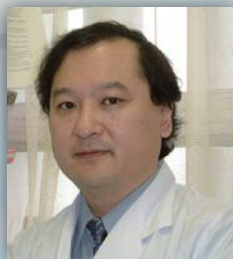
## 基調講演 (第1部)

鈴鹿医療科学大学 教授  
健康食品管理士認定協会 理事長  
長村 洋一



## 特別講演 (第1部)

金沢大学大学院 医学系研究科 特任教授  
日本補完代替医療学会 理事長  
鈴木 信孝



## パネルディスカッション (第2部)

# 健康食品における

# EBM 確立の必要性

※EBM = Evidence Based Medicine (根拠に基づいた医学)



パネリスト  
金沢大学 薬学部 教授  
太田 富久



パネリスト  
平田口腔顎顔面外科腫瘍内科 がんヴレヅ札幌 院長  
平田 章二



パネリスト  
金沢大学大学院 医学系研究科 特任准教授  
徳田 春邦

## 〔主催〕

毎日新聞社

## 〔共催〕

一般社団法人 健康食品管理士認定協会

日本補完代替医療学会〔問合せ TEL.076-265-3900〕

## 〔協力〕

NPO法人 代替医療科学研究センター

## お申込み方法

- 参加ご希望の方は、①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号を明記の上、はがきでお申し込みください。●参加者には折り返し、参加証をお送りいたします。●①~④は明瞭にお書きください。明瞭でない場合、参加証がお手元に届かない場合がございますのでご注意ください。
- 1件のお申し込みにつき1名様とさせていただきます。●申込み期限は9月10日(土)迄です。(期限前でも定員になりしだい締切とさせていただきますので、早目にお申し込みください。)

## 【はがき】

〒450-8561 名古屋市中村区名駅4-7-1

毎日新聞 中部本社

「毎日健康シンポジウム」参加申込み受付係宛

## 個人情報の取扱いについて

参加お申し込みによって得られた個人情報は、細心の注意を払って取り扱い、厳重に管理いたします。

## 第1部

### 基調講演 『健康食品の有効性と安全性』

13:05~13:35

長村 洋一 鈴鹿医療科学大学 教授 / 健康食品管理士認定協会 理事長

### 特別講演 『健康食品の臨床安全性試験の重要性 —タバブイア・アベラネダエ長期摂取安全性試験を例として—』

13:35~14:15

鈴木 信孝 金沢大学大学院 医学系研究科 特任教授 / 日本補完代替医療学会 理事長

## 第2部

### パネルディスカッション 『健康食品におけるEBM確立の必要性』

14:30~16:00

※各パネリストにそれぞれ15分程度のご講演をいただいた後、パネルディスカッションを行います。

座長 鈴木 信孝  
長村 洋一

パネリスト 太田 富久 金沢大学 薬学部 教授  
徳田 春邦 金沢大学大学院 医学系研究科 特任准教授  
平田 章二 平田口腔顎顔面外科腫瘍内科 がんヴィレッジ札幌 院長

## 基調講演要旨

### 『健康食品の有効性と安全性』

長村洋一 鈴鹿医療科学大学 教授  
健康食品管理士認定協会 理事長

健康食品は少し耳慣れない補完代替医療という新しい医療分野の進展に伴って近年その重要性が非常に増えています。ところが、健康食品には「本当に効果があるの?」、「安全性は大丈夫?」、「病院の薬と一緒に摂っても大丈夫?」、「有効成分が本当に入っているの?」、「やせるといわれている健康食品を食べて亡くなった人もいます?」といった多くの問題が指摘されています。実際、新聞、テレビ等のメディアが問題として取り上げた健康食品の事件はこれらの疑問が起こっても当然のようなことばかりでした。

それにも拘わらずテレビのコマーシャル等では有名な俳優が出てきて、さも効果があるように宣伝をしています。このような華々しい効果があるように見せかけるコマーシャルも、気を付けて良く見ていると「効果には個人差があります」といった小さな説明書きが隅の方に出ている。この説明書きは一体何を意味しているのでしょうか。

ありきたりの健康食品でも上手に用いれば血圧の上昇を抑えてくれたり、長年の便秘を改善してくれたら、血糖の上昇を抑制してくれたら、抗がん剤の副作用を軽減してくれたらします。しかし、これら効果のある健康食品についても用い方を誤ると効果があるどころか、命にかかわるようなこともあります。

そこで、今日は多くの方が疑問に感じられる健康食品の「有効性と安全性」を中心に具体的な問題を示しながら分かりやすくお話しさせていただきます。

## 特別講演要旨

### 『健康食品の臨床安全性試験の重要性 —タバブイア・アベラネダエ長期摂取安全性試験を例として—』

鈴木信孝 金沢大学大学院 医学系研究科 特任教授  
日本補完代替医療学会 理事長

医療現場におけるがんの補完代替医療利用率はこれまでよくわかっていませんでしたが、厚生労働省のがん研究助成金による研究班が組織されてからは、徐々に実態が明らかになってきました。それらのデータによると、がん患者の44.6%が何らかの補完代替医療を実践しており、なかでも健康食品・サプリメント利用者が96.2%(複数回答可)と群を抜いて多いことがわかっています。また、一方では、健康食品・サプリメントが原因と思われる健康被害や医薬品との相互作用などが報告され、安全性をいかに担保するかが重要な課題として浮上しています。これらの背景に、今回、悪性腫瘍の治療終了後の経過観察中の患者に対して、我が国のがん患者がしばしば利用している健康食品の一つであるタバブイア・アベラネダエの長期間摂取における安全性試験を実施したので詳細をお伝えします。タバブイア・アベラネダエは、南米に自生する薬用植物で通称タヒボと呼ばれており、1500年以上前からアマゾン川流域の先住民が利用してきたものです。抗腫瘍成分もいくつか同定されており、大手製薬企業が欧米で製薬化をすすめていることでも有名なものです。本試験では、通常量と2倍、3倍量のタヒボを6ヶ月間摂取してもらうことによって、血液・生化学データをはじめ様々な安全性データを得ることができました。それ以外でわかったことについても分かりやすくお話しします。